



北山村 議会だより



北山保育所発表会（12月7日）

令和元年12月定例会が開催されました

議会新体制でスタート！ 委員会などの構成 P 2

正副議長就任あいさつ 監査委員任命式ほか P 3

令和元年12月定例会 補正予算・条例等を審議/可決 P 4

議員が村政を問う！ 一般質問 P 5～P 7

議会日誌 編集後記 P 8

令和元年12月定例会

村議会 ONE TEAM 新体制でスタート!

昨年12月1日に行われた北山村議会議員一般選挙の結果、新しい議員5名が決まりました。任期は、令和5年12月20日までの4年です。

また、令和元年12月定例会が12月23日から開催され、議長・副議長、総務建設常任委員会の構成、一部事務組合議会等へ派遣する議員の構成などが決まり、新体制で議会がスタートしました。

新議員紹介

(議席番号順に掲載しています)

前岡 武津雄



山口 廣一郎



久保 學



藪本 英明



久保 隆俊



以上の5名で新議会がスタートしましたので、よろしく願っています。

議会構成が決まりましたのでご紹介します。

議長 久保 隆俊
副議長 久保 學

総務建設常任委員会

委員長 久保 學
副委員長 藪本 英明
委員 久保 隆俊
委員 前岡 武津雄
委員 山口 廣一郎

議会運営委員会

委員長 前岡 武津雄
副委員長 山口 廣一郎
委員 久保 學
委員 藪本 英明
新宮周辺市町村圏広域事務組合議会
久保 隆俊

紀南環境衛生組合議会

前岡 武津雄
山口 廣一郎

後期高齢者医療広域連合議会
藪本 英明

国保運営委員

前岡 武津雄
山口 廣一郎

介護保険計画委員

前岡 武津雄
山口 廣一郎

議会広報編集委員

久保 學
藪本 英明





副議長

久保 學



議長

久保 隆俊

正副議長
就任あいさつ

村民の皆様には、日頃より村議会並びに村政全般にわたり、温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、12月23日の定例会において北山村議会議長ならびに副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

2名の新議員を含め、全員で5名と日本で最も少ない人数の議会です。ONE TEAMとなり、知恵を出し合い、村政の力になるよう取り組んでまいります。

現在、北山村は人口減少、過疎高齢化が進み、財政面においても依然として厳しい状況となっております。

北山村がよりよい村づくりを進めるため、議会はこれまで以上に大きな役割を果たすことが期待されています。

議会は、地域の幅広い層の多様な意見を聞き、村政に取り入れ、意思決定する村民の代表であります。

今後とも村民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

監査委員任命式

新監査委員

葛城 健也氏
久保 學氏（議選）

令和2年1月28日、役場村長室において監査委員任命式が行われました。

任命式では、山口村長から「監査委員は人格高潔で優れた識見を有する者となっております。村の会計処理が適正に処理されるよう検査して下さい。」と挨拶がありました。委任状の交付の後、代表監査委員に就任した葛城健也さんは「監査委員は重責でありますので、微力ながら責務を全力で果たし、効果的、効率的な視点をもって監査を行っていききたいと思います。」と挨拶しました。



じゃばらいず北山
取締役会に出席

じゃばらいず北山

令和2年1月23日、下尾井の地域事業課会議室において、新会社じゃばらいず北山の株主総会及び取締役会が開催されました。

じゃばらいず北山という社名は、公募により決定したもので、「じゃばらが飛び立つていく、じゃばらは北山村のもの」という意味が込められています。

取締役会のメンバーは次のとおりです。

- 池上輝幸 じゃばらいず北山 代表取締役社長
- 山口賢二 北山村長
- 久保隆俊 村議会議長
- 藪本英明 村議会議員
- 柳原幸則 じゃばら生産組合長
- 山本正幸 北山振興株
- 大和田隆栄 商工会長
- 清水久史 第三銀行

北山村議会を代表して、久保隆俊議長、藪本英明議員が取締役として出席し、新会社の運営形態、今後の運営方針等の協議を行いました。提出された議案は全会一致で承認されました。

令和元年12月定例会 ～平成31年度補正予算等を審議・可決～

本定例会は、12月23日から26日（会期4日間）まで開催されました。23日の開会日は、新メンバーでの初議会であり、正副議長選挙、委員会等の構成を決議し、その後、議会運営協議会、議会全員協議会を開催しました。

2日目は、諸般の報告として、村長の施政方針並びに提案理由の説明が行われ、その後、上程議案として専決処分の報告2件、条例の制定及び一部改正が4件、新会社・株式会社じゃばらいず北山への出資金の議案、平成31年度一般会計及び特別会計の補正予算に関する議案が6件、監査委員の選任の同意案2件が上程され、合計15件の議案が原案どおり可決承認されました。

25日の休会をはさみ、3日目の26日は一般質問が行われ、久保学議員、山口廣一郎議員、藪本英明議員がそれぞれ村行政についての質問を行いました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

- 承認第5号 専決処分の承認について（平成31年度北山村一般会計補正予算（第3号）について）
- 承認第5号 専決処分の承認について（平成31年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第3号）について）
- 議案第48号 北山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
- 議案第49号 北山村職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正について
- 議案第50号 職員の給与に関する条例の一部改正について
- 議案第51号 北山村使用料条例及び加入金の徴収に関する条例の一部改正について
- 議案第52号 財産の出資について（新会社・株式会社じゃばらいず北山への出資金）
- 議案第53号 平成31年度北山村一般会計補正予算（第4号）について
- 議案第54号 平成31年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第55号 平成31年度北山村介護保険特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第56号 平成31年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第57号 平成31年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第58号 平成31年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第4号）について
- 同意案第3号 監査委員の選任について（葛城健也氏）
- 同意案第4号 監査委員の選任について（久保学氏）

予算について議員が問う！
全員協議会・定例会での主な質疑内容

【質問】奥地谷の土捨て場はいつまでに建設する予定か？

【答弁】奥瀬道路の工事がこれから仮橋を架け、その後、第一トンネルの工事になります。トンネル工事が始まると残土処理のために土捨て場が必要になるのです。それまでには完成させる必要があります。（産業建設課長）

【質問】大沼の集合住宅はいつまでに建設する予定か？また、どのような設計になっているか？

【答弁】大沼の集合住宅はプールの跡地におり、令和2年度中に建設の予定です。

1階には単身者用住居が2戸、家族用住居が2戸、2階部分には単身者用住居が6戸が入居できるように設計しています。（産業建設課長）

【質問】教育費の給食費で備品購入費が計上されているが、どういふものか？

【答弁】来年度から保育所でも給食が始まります。そのため食器や料理器具を殺菌するために減菌機が必要になりますので計上しています。（教育長）

【質問】じゃばら新会社設立に関して、今後果実の収穫量を増やさないか？

【答弁】令和2年度以降、旧小学校跡地や休耕田を利用して栽培面積を増やし、じゃばらの生産量を増やしていく予定です。（村長）

【質問】高齢者生活福祉センターの漏水対策工事は来年度で間に合うのか？

【答弁】漏水箇所はボイラーから外の部分であり、お風呂を使用すると風呂を使用するときにだけバルブを開けているので漏水する水量は少なくすんでいます。そのため来年度の修理で大丈夫です。（住民福祉課長）

一般質問

じゃばら事業の民営化を問う 久保 學
交通量の激増による交通安全対策及び
おくところ温泉の民営化について 山口 廣一郎



じゃばら事業の民営化を問う

【質問】じゃばら事業民営化について次の5項目を質問します。
①民営化という目的で設立されているが、出資は100%が村であり、企業会計を導入するだけで実態としては看板の架け替えに過ぎないのではないか。
②この形態の会社であるなら、株主総会という通常の会社にある最高意思決定機関が存在しないため、取締役のみの議決にて物事が進んでしまい独善的、閉鎖的な運営となる可能性がある。
③誰も出資者がいないため、経営責任が明確化できない。赤字を出しても損をするのは主体のない北山村だけである。
④経営責任を迫及する機関がないため、取締役に緊張感が生ま

れない。北山村を代表するのが村長だとしても村長の独断で全てが決まってしまう。
⑤現在の取締役の人選では第三者的な視点から意見を具申できる人がいない。社外取締役的な人物も選任するべきではないか。
【答弁】じゃばら事業については法人化という表現でお答えいたします。新会社の社員は公務員と比較した場合、職務内容が全く異なり営利を目的として利益追求を求められません。社員には、民間企業意識を持つて業務にあたっていただきたい。
法人になれば当然会計は複式簿記で処理しなければなりません。複式簿記は現金、商品の動き、負債、利益など財務状況が一目瞭然になり、業績も明らかになります。業績が明らかになるということは社員の待遇にも関わってきます。頑張っても頑張らなくても給料は変わらないということにはなりません。
また、業績も含めて経営状況・経営方針に対し、意見具申をするのが取締役会です。取締役会にはこれらに対する責任があり

ます。
村が守るべき特産「じゃばら」として、村が100%出資するということは村民が株主ということですが。そのうえで議会から2名の役員が就任していただいたことは大変心強く思っております。じゃばらを守るために、さらに世に広めるために、ご指摘の看板の架け替えにならないためにも、関係者がワンチームとなつて取り組んでいただけることを切に願うものであります。
(山口村長)



交通量の激増による今後の交通安全対策について

【質問】最近、交通量が激増しているが、交通安全対策として子供の横断のための飛び出し注意の看板、標識の設置をお願いしたい。また、奥瀬道路Ⅲ期工事などの工事に関わる関係各社に対して交通安全を徹底してい

ただくことを要望します。
【答弁】国からの通達により村でも新宮建設部及び新宮警察とともに、保育園児の散歩コース等に危険箇所がないかを調査しました。その中で横断歩道の設置の候補地が数カ所出てきておりますが、横断歩道は前後5メートルが駐車禁止になるという制限を受けるので村民の理解も必要になってくると思います。

注意看板、標識については、北山村交通安全協会で、村民から要望があればその都度調査し、設置してきております。そのほか「飛び出し注意」等の看板等の購入も行っております。

今後も交通量の増加が見込まれることから、危険箇所の調査や看板等の設置など県へ要望していきたいと思っております。

また工事関係車両が交通安全に大きな影響を及ぼすことが危惧されております。

特に大沼集落の通行に関しましては、制限速度が30キロというところで、交通事故がないよう安全対策や住民への配慮について注意が必要となっております。

現在行われている竹原国道改良工事や奥瀬道路Ⅲ期工事の発注者である和歌山県及び紀南河

(次のページに続く)

川国道事務所に対しましては周知徹底を図るよう、今後也要望をしていきたいと思えます。

(尾中総務課長)

おくところ温泉の民営化について

、【質問】おくところ温泉の経営支援では村外からのスタッフ派遣により北山村に暮らす人々の心の豊かさ、良き方言が薄れていくのではないか？

温泉施設の運営については民営化に伴い、観光シーズンに合わせた売店の営業時間の延長や団体客のお見送りなどのサービス向上をお願いしたい。

また、営業中か準備中かが道路から見て分かるような看板の設置を要望いたします。

【答弁】現状の温泉運営では人材の確保が厳しくなっており、笑顔、態度、言葉づかい、そういう総合的なもの抜けているという危惧がございます。

職場にとって一番大事なのは、やはりチームワークなので、民営化により仕事に対する意識持っていたかどうかのようにし、適正な責任者を置くなどの対応としたいと考えています。

接客に関しては、北山らしきを出して、村民に愛されるおくところ温泉を目指していきたい。

方言については山口議員のライフワークとして北山弁を守る会など組織し、守っていただきたい。看板が分かりにくいことは私も感じていましたので改善いたします。

(山口村長)

一般質問

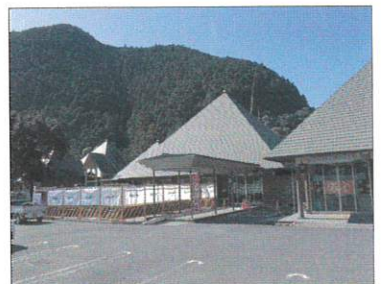
長期総合計画の策定について
住民避難保険への加入について
読解力の低下について

藪本英明



長期計画の策定について

【質問】私は、商工会で39年間勤めてまいりましたが、一番重要であると感じたことは、計画です。長期総合振興計画を将来、任んでよかつたと思える北山村を実現するため、早期に作成していただきたい。10年後も安心安全で持続可能な村であり続けるために、福祉、教育、防災、



現在、おくところ温泉は補修工事を行っており、3月末までレストランとコンビニのみの営業となっています。

産業振興など各種分野ごとに専門家のアドバイスをいただきながら、村民の意見を十分に取り入れた計画づくりが必要です。

特に女性の意見を取り入れることがよりよい計画づくりには必須であると思えます。

財政面での裏づけはもちろんP D C Aサイクルで毎年検証を行うことも必須条件だと考えます。村長の考えをお聞かせください。

【答弁】来年度に長期計画を策定する方針であり、10年スパンの計画を策定したいと考えております。

計画する事業として来年度には定住集合住宅、それから令和2年度、3年度にかけてじゃばら加工場を建設します。

この大きなものが令和3年度には終わりますので、その後、ハード面としては、奥瀬Ⅲ期工事の完成に合わせて小松の3号橋周辺の整備、それから、おくところ公園やバンガローも老朽化のためキャンプ場等の再整備をしていきたいと考えています。

なお、道の駅も今後ある程度改修して整備をする必要があります。財政面を検討しながら、おくところ公園一帯を奥瀬道路のサービスエリア的な位置づけとして整備をしていきたいと考えています。

防災につきましては、南海トラフの地震が30年以内に発生する確率が80%と発生率が高まってきています。災害が起きると道路が寸断され、長期的に孤立します。冬の時期ですと寒さ対策も必要のため、燃料の備蓄を長期計画に盛り込みたいと考えています。

福祉面では社会福祉協議会の経費が膨らんでくるということに危惧しております。福祉についての私の考えは、教育と同様に存続させていくということでございますので、財源の確保も非常に大事になってくのではないかと思います。

(山口村長)

(次のページに続く)

避難保険への加入について

【質問】住民避難保険とは、自然災害発生時の被害費用を補償する民間保険であり、災害救助法が適用されれば、その費用は国、県で賄ってもらい、適用されなければ村でその費用を出さなければならぬというふうです。

その内容といたしましては、避難所設置費、食糧費、消防団員の出勤手当、職員の超過勤務手当で、その費用が保険で給付される制度です。

近年、台風の接近、上陸が当地域にも増えてきている現状を踏まえて、住民避難保険への加入を検討してどうでしょうか？

【答弁】以前に加入に向けての検討を行いました。掛け金に対する避難所開設等の費用など戻ってくる保険金が少ないこと加入をためらっていました。

東牟婁郡では、加入団体は那智勝浦町のみです。

保険の支給対象は避難所設置にかかった費用、炊き出しなどの食糧費、さらに応急救助としてまして消防団員の出勤手当とか職員の超過手当などが含まれるそうです。

近年、避難勧告等の発令が市町村に求められる対応レベルというのが引き上げられる中で、

今後避難所開設等が増加することでも予想されます。

避難にかかる費用が高騰することも危惧されるため、当初予算の算定に当たって前向きに検討を進めてまいりたいと思っております。
(尾中総務課長)

子供の読解力の低下とその対策について

【質問】国際学力調査が実施され、日本は数学的リテラシーと科学的リテラシーはトップクラスであるが、一方、読解力は前回の8位から15位と順位を下げ、他の国と比べて低かったことについて、教育長はどのように考えているか？

【答弁】文部科学省は、日本の生徒は、書いてある内容を理解する力は安定して高かったが、文章の中から必要な情報を探し出す問題が苦手だった。情報が正しいかを評価したり、根拠を示して自分の考えを説明する問題も低迷したと説明しております。つまり、OECDの言う読解力とは、文章や資料から情報を取り出すことに加えて、解釈、熟考、評価、論述することも含むものであるということなんです。

また、このテストの解答方法は、全部パソコンで入力をするという方法であり、日本の生徒はテストにパソコンの操作で答えるということには慣れていないとも述べております。
文科省は今、一人1台の端末整備を進めておりますので、北山村教育委員会でも、今後は児童生徒用パソコンを配備する準備を始める予定です。
読解力、国語力の向上に必要なことは、やはり読書だといわれています。新聞、雑誌を読むことで、教養、価値観、感性などを養うとともに、自分の頭で考え、書いて表現し、人にも伝えることができる力が育ちます。
北山村では、幼児期の絵本の購入のためブックスタート、セカンドブック助成金制度を設けており、3歳から1歳未満と2歳から4歳の間に1万円を助成しています。
小中学校でも読書タイムを設け、読書に親しむ姿勢を育てています。また、読書後の書くことについても力を入れております。小学校低学年では「あのねノート」、中学年では「作家の時間」、高学年では「言葉の宝箱」などと名づけた活動を行い、語彙や表現方法の幅を広げさせようとしています。
水曜日の昼休みには本の読み聞かせや読書感想文の発表や討

論をする「北山トーク」の時間を設けています。

このような北山スタイルの取り組みは、11月に北山小中学校で開催されました和歌山県の教育研究大会で参加者から高い評価をいただきました。

現在、那智勝浦町のご協力をいただいで学校司書の資格を持つ専門家の方に学校に来ていただき、読書やブックトークなどを指導指導をしていただいております。

また、県立図書館の100冊を100日貸し出してくれる制度を活用し、学校図書の実用を図っています。

そして、教員の授業改善についてもこれまで力を入れてきました。指導主事を迎えての研究授業を行い、国語を中心に、どの教科においても教師の問いかけた課題が子どもにしっかり届いているか、子どもの考える場面がしっかり焦点化されているかなどと授業の振り返りを行っています。学力の向上につながる読解力や集中力を子どもに身につけさせたいと考えて行っているところがございます。

(中島教育長)

議会日誌

11月

- 1日 村議会議員選挙立候補予定者説明会 (村民会館)
- 11日 ねんりんピックでの北山音頭観覧 (和歌山市 ビッグホール)
- 12～14日 全国町村議会議長会 全国大会 (東京都)

- 15日 総務建設常任委員会 (役場)
- 26日 村議会議員選挙告示日 (役場)
- 27日～30日 村議会議員選挙期日前投票 (村民会館)

12月

- 1日 村議会議員選挙投票開票 (村民会館)
- 20日 前議会議員任期満了
- 23日 議会運営協議会・全員協議会 (役場)
- 23～26日 12月議会定例会 (役場)

1月

- 4日 消防出初式出席 (下尾井グラウンド)
- 6日 正副議長就任挨拶周り (東牟婁郡内)
- 8日 和歌山県知事訪問 (和歌山市)
- 14日 電源開発(株) 関西支社訪問 (大阪市)
- 15日 国会議員訪問 (東京都)
- 17日 総務建設常任委員会 (役場)
- 17日 東牟婁郡町村議会議長会 (太地町)
- 21日 近畿地方整備局訪問 (大阪市)

23日 株式会社じゃばらいず北山取締役会 (地域事業課会議室)

24日 和歌山県後期高齢者医療広域連合 保険料改定に係る説明会 (新宮市)

29日 熊野川流域ダム湖下流団体協議会 視察研修 (宇治市)

29日 和歌山県町村議会議長会 及び県幹部との意見交換会 (和歌山市)

2月以降の予定

2月

4日 議会だより編成委員会 (役場)
13～14日 和歌山県町村議会議長会正副議長、事務局長研修会 (和歌山市)

13日 紀南環境衛生臨時総会 (新宮市)

17日 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会 (和歌山市)

19日 新宮周辺市町村圏広域事務組合議会 (新宮市)

21日 総務建設常任委員会 (役場)

3月

上旬 議会運営委員会、議員全員協議会
中旬 3月定例会

19日 北山小学校卒業式 (小中学校体育館)

25日 北山保育所卒園式 (北山保育所)

編集後記

もつ食べましたか？
「じゃばらミンティア」

年明けに、新しくなった村議会議員の紹介を兼ねて、国会議員や県知事への新年の挨拶周りを行いました。その際、じゃばらのPRにもなるので新商品のじゃばらミンティアをお土産に持って伺いました。

二階俊博幹事長、世耕弘成参議院幹事長にも味をみていただきましたが、美味しいと評判も良く、持ち歩いて宣伝していただけたとのことでした。

議会でも挨拶の時に名刺代わり渡してじゃばらを紹介しよう、と言っていました。残念ながら期間限定での販売ということで、先日最後の入荷となってしまいました。

このじゃばらミンティアは全国チェーンのコンビニでも販売され、商標フェルに「北山村産」と「じゃばらは北山村が保有する登録商標」と記載してありますので、じゃばらと北山村の知名度アップになったのではないのでしょうか。

まだ食べてないという方はぜひ食べてみてください。

次はじゃばらを使った「ぷっちょ」というお菓子が販売されるといふことですので楽しみにしています。

議会事務局 杉浦有紀

